

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		MIRAI小松				公表日	令和7年3月3日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用児に合わせて物品やマットの配置など環境設定を変更しています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		人員配置基準を満たしています。基本的に個別対応を行なっているため1対1で対応しています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		室内外ともにバリアフリー構造になっています。必要に応じてパーテーションを設置し、利用児の活動に応じて過ごす空間を仕切っています。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		毎日児童送迎後に施設内の清掃を行なっています。利用児に合わせて環境設定を行なっています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		パーテーションを設置し、利用児の活動に応じて過ごす空間を仕切っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを心がけ、朝礼、終礼や運営会議などのミーティングを行なっています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議で検討し、できる限り対応しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の面談を行い、意見等の把握に努めています。必要に応じて会議で検討し、業務改善に取り組んでいます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		必要に応じて検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内のみではなく外部の研修にも参加し、職員の資質の向上に努めています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページやパンフレット、体験会などで当施設の支援プログラムを公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		連携機関から得た情報や保護者とのコミュニケーションに基づきニーズや課題を確認し、個別支援計画に反映しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		各職種が専門職別に活動プログラムを立案し、支援者会議で情報を共有しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援者会議などで共通した情報を元に、計画に沿ってサービスを提供しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートを作成し、利用児の状況把握に努めています。日々の記録なども参照しながらアセスメントを行なっています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの項目を計画書に記載に、保護者に説明と同意を得ています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各職種が専門職別に活動プログラムを立案し、カンファレンスで情報を共有しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節のイベントや制作を行ったり、療育に関して話し合いを行いながら固定化しないよう取り組んでいます。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を適宜組み合わせながらサービスを提供しています。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		1日のスケジュールを作成し、朝礼で確認・共有しています。また、送迎時に保護者から連絡を受けた内容も朝に共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎時に保護者から受けた連絡やその日の出来事などを共有し、必要であれば会議で話し合いながら業務改善に努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		サービス提供記録にその日の活動内容、児の様子を具体的に記載し、写真と共に保護者に公開しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に1回以上の頻度でモニタリングを行い、計画書の見直しを行なっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		ガイドラインに準ずる支援を提供しています。	保護者の意見も参考にしながら地域交流なども検討していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		遊ぶ玩具を自分で選択するなど、自己決定を促しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		事前に職員間で会議を行い、管理者が出席しています。会議の内容によっては他の職員が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		担当者カンファレンスなどを通じて情報交換を行い、他の関係機関と連携して支援を行えるように取り組んでいます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者の方を通じて学校と情報共有を行なっています。送迎時は学校の先生から申し送りを受け、対応しています。必要に応じて直接学校とやりとりを行なっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者の方や相談員の方を通じて保育所や児童発達支援の頃の様子を聴取しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて情報提供を行なっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			必要に応じて連携を行なっています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			保護者の方にご意見をいただきながら地域交流なども検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		小松市、能美市などの協議会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINEでのやり取りや送迎時、モニタリングの機会を通して情報収集に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			必要に応じて検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行なっています。また変更が生じた際にはその都度説明を行なっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時や計画書更新時に意向の確認を行なっています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書の説明を行い、同意を得て支援を行なっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて対応できるように心がけています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			保護者の方にご意見をいただきながら検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情窓口について説明を行い、必要に応じて対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		年に数回お便りを発行しています。休職等のお知らせはLINEなどでお知らせしています。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			今後も定期的に職員に対して注意喚起を行います。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		送迎時やお電話以外にもLINEアプリや支援ソフトなどを用いて、情報伝達や意思疎通が行いやすいように取り組んでいます。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			保護者の方にご意見をいただきながら地域交流なども検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		令和6年能登半島沖地震をきっかけに緊急時対応に関して見直しを行いました。各マニュアルは定期的に追加修正し、お便り等で保護者の方にも周知していきます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に2回火災や地震を想定しての避難訓練を行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約前にそれらの情報とケアの方法、緊急時対応などを保護者に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用開始前に確認し、聞き取りを行なっています。事業所での食事提供はありませんがアレルギーがあれば活動には取り入れないようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		研修の受講や訓練などを行い安全管理に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練を行った際などに日々の記録やお便りなどで訓練の様子を公開しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった際には朝礼や終礼で対策会議を行っています。会議結果もまとめてファイリングしています。インシデント、アクシデントレポートの記載も行い、対策会議を行なっています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を受けています。研修を受けた職員が他の職員に伝達を行い、虐待防止に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時にどのような場合に身体拘束を行うか保護者と話し合い、説明と同意を得ています。		